

説教のポイント

主が右におられます

マタイ二八・二一―二五

右は行動を導く側、最も信頼のおける場所ですから、一番大切なものがおかれます。皆さんの右側には何がありますか？ 世間を見渡せば、右側にお金を置く人もあるでしょう。あるいは地位や名誉、知識や権力を置くかもしれません。しかし、詩篇二六編にはこうあります。

主は私の右にいます。私は揺らぐことがありません」。

今日は復活節第二主日ですから、キリスト教信仰でもっとも大切な、「復活」を右側におくことができるだろうか、と考えてみたいと思います。実は世の中は復活を受けられません。イエスが死んで墓に葬られたとき、指導者は番兵を見張りにつけ、墓の石に封印しました。弟子たちが死体を

盗んで、イエスは復活した」などと言いつらし民衆を惑わさないように。世の中にとって復活はあってはならないものなのです。

しかし、イエスが何度も予告していた通り、復活は起きました。そのときの世の反応は？

弟子たちが死体を盗んだことにしよう」と、兵士に金までやって口裏を合わせます。当初、

弟子たちが嘘をつくと言った自分たちがいま「嘘」をつくりあげている。金や名誉、知識や権力があるものの言葉もこの通り、結局あてになりませんでした。大は皆、草のようで、その華やかさはすべて、草の花のようだ。草は枯れ、花は散る。しかし、主の言葉は永遠に変わることはない」 第一ペトロ一・二四。

世の中が復活をめぐり大騒動している間に、イエスの弟子や婦人たちは、もうすでに、ガラヤに向かって歩み出していました。彼らの右側には「復活」のイエスがいたのでした。